



嘘ばかりの「社員の皆さんへ」を鵜呑みにしている人は居ませんが、

#真相をお話しします

6月6日以降、新幹線統括池田本部長名で「社員の皆さんへ」が発出されています。会社は、「2件の列車分離事故について、連結器の基板が同一であった指摘を認めたが『公表は労使双方とも控えよう』という会社からの協力要請を組合は受け入れた。しかし、組合は労使確認を反故にし、ホームページ上にて公開した。また、『執拗に迫る隠蔽指示が存在』という事実関係を歪曲した喧伝を行った」と主張しています。

しかし、この主張の真相は…

新幹線地本は列車分離について4月3日に団体交渉を行いました。『制御盤載せ替えの事実』を追求するも会社は認めず隠そうとしました。しかし、隠すなら交渉が進まないことを通告し、会社は最終的に制御盤載せ替えの事実を認めました。

会社は交渉後、労使の窓口にて「運輸安全委員会が入って調査しているので、制御盤載せ替えについて口外しないで欲しい」と労働協約や就業規則を織り交ぜながら『相談・お願い』そして脅しとも取れる発言もありましたが、新幹線地本は「団体交渉は公開であり、組合員への報告義務がある。これは組織への支配介入である」と突き返しています。

その後、組合員には交渉経過を明らかにしつつも、ホームページについては配慮し、制御盤を載せ替えた事実の会社回答については「調査中」という表現に留めていました。これは会社より協力を要請され合意した事でも労使で確認した内容でもありません。

そのような中、6月2日付の新聞報道にて「連結分離2事故 同じ基盤」と制御盤載せ替えが報道されたことから、新聞記事を元にした組合情報を発出しました。この組合情報を巡って今回の「社員の皆さんへ」が発出されています。

しかし、この「社員の皆さんへ」で展開されている「輸送サービス労組への協力要請」について合意した事実はありませんし、そもそも「労使の確認」など存在すらしていません。

以上が今回発出された「社員の皆さんへ」の真相です。

会社は労使協力し公表を控える確認を取ったなどと主張していますが、JR東日本輸送サービス労働組合が「結成された経緯」や「結成から5年間の取り組み」をみて、私たちが『会社と結託して不正（隠蔽工作）を図る』といった判断を下すと思いますか？

JR東日本グループで働く社員の皆さん、安心してください！
輸送サービス労組は「不正や不祥事が繰り返され、
虚偽や隠蔽が横行する腐敗した組織」にはなりません！